



新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

ワクチン接種の疑問点 Q&A



今回は、小児（5～11歳）に対する新型コロナウイルスワクチン接種の疑問点をQ&A形式で解説します。

Q 子どもは新型コロナウイルスに感染しても重症化しにくいと言われていました。なぜ、小児（5～11歳）のワクチン接種が必要なのですか？

A 小児においても中等症や重症例は確認されており、特に基礎疾患を有するなど、重症化リスクが高い小児にはワクチン接種の機会を提供することが望ましいとされています。
また、5～11歳における2回接種後7日以降の発症予防効果は90.7%と報告されています。^(※)
今後、さまざまな変異株の流行も想定されるため、小児を対象にワクチン接種を進めることとされました。
※オミクロン株が出現する前のデータです。

Q 子どもの新型コロナワクチン接種後の副反応にはどんなものがありますか？

A ワクチン接種後、数日以内に現れる症状は、接種部位の痛みが一番多くなっています。症状は注射直後よりも、接種日の夜や翌日に痛みを感じる人が多いです。
なお、ワクチン接種後の症状は、ほとんどが軽度または中等度であり、現時点で得られている情報からは、安全性に重大な懸念は認められないと判断されています。

図 ワクチン接種後数日以内に起こることがある症状

症状が出た人の割合	症 状
50%以上	注射部位の痛み、倦怠感
10～50%	頭痛、注射部位の赤み・腫れ、筋肉痛、寒気
1～10%	下痢、発熱、関節痛、嘔吐

Q ワクチンの接種量や回数は成人と同じですか？

A 小児のワクチン接種にあたっては、ファイザー社製のワクチンを使用します。接種する有効成分の量は、12歳以上の3分の1の量です。接種回数は、12歳以上と同様の3週間間隔の2回接種です。

Q 小児のワクチン接種に向けて、保護者が気を付けることはありますか？

A ワクチン接種後数日以内は、接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱などの症状が見られることがあるため、注意しながら過ごす必要があります。また、ワクチンの効果は100%ではないことから、引き続き正しいマスク着用など、基本的な感染対策の継続をお願いします。

新型コロナ相談窓口

発熱・咳・体のだるさなどの症状がある場合		県の対策や予防法などの相談	
かかりつけ医をもつ方	かかりつけ医がない・相談先が分からない方	一般相談（コールセンター） 0120(567)177 月～金曜日 午前8時30分～午後9時 土日 祝日 午前8時30分～午後5時15分 <small>※耳の不自由な方はFAX 024 (521) 7926にご連絡ください。</small>	
まずは、かかりつけ医などの身近な医療機関への電話相談をお願いします。	受診・相談センター 0120(567)747 毎日24時間（土日祝日を含む）対応		
誹謗中傷でお困りの方		こころの健康相談	
新型コロナウイルスの感染者やその関係者、医療従事者などに対する誹謗中傷の被害を解決するための支援を行います。 電話相談窓口 ☎024 (521) 8647 月～金曜日(祝休日除く) 午前9時～午後5時		新型コロナウイルスの感染拡大やそれに伴う生活や仕事への影響に関して、不安やストレスを感じている方の相談に対応します。 こころの電話(県精神保健福祉センター) ☎024 (535) 5560 月～金曜日(祝休日除く) 午前9時～午後5時	

最新情報は
こちらから

福島県
ホームページ



新型コロナウイルス感染症
関連情報ポータル



福島県公式 Twitter
@Fukushima_Pref

